

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約2.0 億円
		通常砂防事業 寺谷川 ^{てらたに}		内用地補償費	約0.1 億円

所在地		事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
宍粟市 山崎町 ^{ののうえ} 野々上		18年度	18年度	21年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、災害時の指定避難所である野々上公民館及び市道を保全する。	・砂防えん堤工 3基 (H = 9.0m, L = 60.0m) (H = 3.0m, L = 20.0m) (H = 4.0m, L = 50.0m) 〔負担割合 国: 1 / 2、県: 1 / 2〕

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全、安心	<ul style="list-style-type: none"> ・寺谷川は土石流危険渓流である。 ・溪岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・流域状況は急峻な地形で溪岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象: 人家 = 23戸、公共施設 = 野々上公民館(避難所)、消防庫、市道 その他 = 寺、田畑 = 0.5ha
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・人命・財産(人家23戸)、災害時の指定避難所である野々上公民館、消防庫及び市道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家23戸のほか野々上公民館、消防庫、市道がある。 ・流域の荒廃が激しく進み、土砂流出の危険性が高く、野々上地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。